成田市文化振興マスタープラン策定委員会会議録

（第１回）

１　開催日時

平成２９年２月１０日(金)　午後２時～午後４時

２　開催場所

成田市花崎町７６０番地

成田市役所　６階　大会議室

３　出席者

(委員)

天沼理恵子委員、榎田伸一郎委員、大塚初重委員、後藤雅宣委員、新井とみ子委員

(事務局)

関川教育長、秋山生涯学習部長、麻生副主幹、寺里文化振興係長、遠藤主任主事

４　議題

（１）成田市文化振興マスタープラン（案）について

５　議事

（１）成田市文化振興マスタープラン（案）について、麻生副主幹から、資料に基づいて説明した後、自由討議を行った。

≪発言要旨≫

委員：県のイベント、公民館、福祉館などのイベントに関し、運営も来場者もすべて高齢者なので、子どもや青少年、若者を取り込んで交流を深めるべき。青少年関係の役員に中心になってもらうのも良いかと思う。

マスタープランに書かれている事業をすべて開催するのは、難しいのではないか、職員に負担がかかるのではないか？

委員：課題が山ほどありますね。プランの内容については、立派なものと思うが、文化財の収蔵庫の整備なんかは、数十年間言い続けているものだが、まだ出来ていない。国際文化会館のほかに、駅前にもホールのある施設ができたが、３００席しかない。５００席ほしい市民は、酒々井や印西など近隣市町村に流れている。もっと具体的に考えていかないと成田市は、何をしているの？という市民がたくさんいると思います。プランの内容としては、結構なものですが、印西や酒々井、佐倉などのほうがまちとしては動いている。プランを作って、ぜひ実現にむかって動いてもらいたい。

委員：以前学校にいた際に、校内の整理をしていて、古墳時代の文化財の石枕（花

を挿す穴があいているため、貴重）の借用書が見つかった。誰が管理するものなのか。小学校に所蔵されている文化財は、そのうち所在がわからなくなってしまうのではないか。

委員：文化財の収蔵庫に関しては、本当に実現してもらいたい。

事務局：文化財の収蔵庫に関しては、市内６か所に保管倉庫があり、マスタープランの中では具体的には表していないが、今後、閉校した学校跡地を保管・展示施設として活用できないかということで検討しているところです。文化財の借用の話では、現在、市の文化財も「房総のむら」において管理していただいているものもあるが、市の施設として収蔵庫がないという状況です。文化財が、どこに何があるかデータ化することは必要であると思います。

委員：霊光館や下総の歴史民俗資料館などがありますので、ないというわけではないですね。

委員：プランを掲げることは、実現に向けて動くうえで非常に大切なことである。

２７ページプランの理念に国際という文字をいれられないか。他市からすると空港があるのは非常に魅力的である。これを大きく前面に打ち出すべきではないでしょうか。

駅前施設において、駐車場がないということは大きな問題です。アイデアを出して、何とか市主導で改善できないものでしょうか。

今後、プランの評価という話になっていくのかと思います。

３５ページ　地域単位で活動するコミュニティスクールを入れてはどうか。

委員：市内でも子供会など文化活動ができるようにと。

事務局：理念に国際を加えるか、ここでお諮り願います。

委員：全員一致で、文化も国際という意味も込めたいということで、「・」を入れて国際を入れることに決定。

変更後：「時空をつなぐ心豊かな文化・国際都市　成田」

委員：これからこのプランはどのように策定に向け動いていくのでしょうか。

事務局：この策定員会でのご意見を反映させたものを再度確認いただき、パブリックコメントなども行うことを考え、なるべく早いペースで動いてまいりたいと考えております。

教育長：評価のお話が出ましたが、施策を出して、目標、評価を行うことが大事かと思います。学校教育のプランにつきましても３年スパンで動いてその都度評価を行っています。

委員：オリンピックに対する協力体制はどのように考えているのか。

事務局：部局の改変を予定しており、観光プロモーション、スポーツ、文化振興を一体として、取り組んでいこうということですので、もちろん文化振興にも予算をつけ、これから頑張ってもらいたいというのが願いでもあり、オリンピックに向けての体制ということになります。

委員：県のメッセなどの予約ができないことが問題になっている。吹奏楽のコンクール、マーチングのコンクールが、オリンピックの関係で場所の予約ができない。県大会は、３０ｍ×３０ｍの場所が必要。市内の施設の予約はどうなって

いるのか、オリンピックで人が来れば、やむを得ないことだが市民が不自由を感じないよう、レギュラーが外されないようにしてもらいたい。市はそんなに問題にはならないとは思いますが。

教育長：部を分けることで、教育委員会の意見を求められているが、外にばかり目を向けず、市民を重視する施策を実行しなければ意味がないと意見をだしています。スポーツツーリズムなど、大きなイベントを開催するのも結構だが、市民の活動を妨げることのないようにということで、考えています。

委員：オリンピックでは、パラリンピックも視野に入れてもらい、健常者ばかりでなく弱者にも目を向けてもらって支援をしてもらえるとよいかと思う。

委員：小さいころの体験は大事。昔は新勝寺の自然や印旛沼など、美的に洗練されたものが、身近にあった。現在は、子どもに期待することが多く、学校現場では問題や課題が起きることもあるが、幼児と小学校の頃は体験が必要だと思います。写生会を取り入れるのは、成田中と印旛中のみ。国際こども絵画交流展の絵の審査でも、絵が変わってきている。勉強だけでなく、創造性を広げる努力をしてもらいたい。成田市はしっかり行ってくれているとは思うが、マスタープランでも国際こども絵画交流展に力を入れていただけるようにしてもらいたい。美術の居場所が少なくなっているが、大事。

委員：美術系の授業は、学校の授業の中でかなり少なくなってきている。

委員：案の中身はこのままでよいが、本日の意見を取り入れてもらいたい。

6　傍聴

（１）傍聴者

１名

（２）傍聴の状況

傍聴要綱に反する行為は、見受けられなかった。

7　次回開催日時(予定)

未定